学校番号	１００９

令和３年度　芸術科

教科	芸術科	科目	美術Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	高校生の美術１(日本文教出版株式会社)						
副教材等	な　し						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・幅広い方向からモノ作りの面白さを伝えるため、表現ではデッサン・色彩・構成・材料や用具の　生かし方などの技能を指導するとともに、意図に応じた多様な表現方法の工夫を行っている。
・鑑賞では、他者の作品を鑑賞し意見を交換することで、作者の心情や意図と表現の工夫を理解し、　美術への関心を持たせるよう指導している。

２　学習の到達目標

美術の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	美術の創造活動の喜びを味わい、美術や美術文化に関心をもち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫している。	美術や美術文化を幅広く理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	制作の様子 レポート ワークシート 鑑賞活動やグループワークの様子 作品	ワークシート アイデアスケッチ等の下絵 制作途中の作品 作品	制作途中の作品 作品	鑑賞活動やグループワークシート アイデアスケッチ等の下絵 作品 発言内容

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	グレースケール	【絵画】 ワークシート 濃度の違いや表現の仕方を学ぶ。 制作 １１個の四角を描き、１１段階の明度の変化を描く。	○ ○		○	○ ○	a:鉛筆の多様な表現に関心を持ち、鉛筆での制作に意欲を高めている。 c:正確に線を引くことができるとともに、微妙な明暗の変化を表現できる技術が養えた。 d:鉛筆の扱い方、明るさの違いによる表現を理解できている。	ワークシート 制作途中の作品 作品
	立体構成（切断された立方体）	【立体】 アイデアスケッチ 制作したい形の展開図を描く。 制作 正立方体を斜めに切断した形をケント紙で作り、断面部分は着色する。 立体の基礎、モノが建つ原理を理解する。	○ ○	○ ○	○	○ ○	a:立体の多様な表現に関心を持ち、立体作品の制作に意欲を高めている。 b:立体の特徴を生かし、形体などを工夫して表現の構想を練っている。 c:意図に応じて材料や用具の特徴を生かし、表現方法を工夫して主題を追及して表現している。 d:素材の特徴や立体作品の魅力を理解している。	アイデアスケッチ 制作途中の作品 作品
	立方体のデッサン	【絵画】 クロッキー 大まかな形を捉える練習。 制作 モチーフの捉え方や調子、陰影のつけ方を理解し、実践する。	○	○	○		a:鉛筆の多様な表現に関心を持ち、鉛筆での制作に意欲を高めている。 b:モチーフを良く観察し、構想を練って制作できている。 c:微妙な明暗の変化や立体物の量感を表現できる技術が養えた。 d:形の捉え方や鉛筆の扱い方、明暗による表現を理解できている。	制作途中の作品 作品

後期	色彩基礎 （明度彩度、色づくり）	【デザイン】 ワークシート 色彩基礎色を理解する。 制作 トーン表に従い、絵の具で同じ色を作り着色する。 教科書の色見本を再現し、着色する	○ ○		○	○ ○	a:絵の具の多様な表現に関心を持ち、絵の具での制作に意欲を高めている。 c:正確な色を作り、はみ出ず、ムラなく、塗ることができる。 d:色の三属性や混色の方法、絵の具の特徴を理解できている。	ワークシート 制作途中の作品 作品
	色面構成 （調和と対比）	【デザイン】 ワークシート 画面区分による感じ方、伝わり方(構成)を学ぶ 制作 画面を決められた法則で分割しアクリルガッシュで着色する。 同一調和、類似調和、対比調和を活かし、効果的な画面に仕上げる。 １学期の色彩基礎を応用。	○ ○ ○	 ○ ○	○ ○	○ ○ ○	a:絵の具の多様な表現に関心を持ち、絵の具での制作に意欲を高めている。 b:想像力を働かせ、構成や配色に工夫ができている。 c:明度、彩度を考えた色を作り、はみ出ず、ムラなく、塗ることができる。 d:配色での立体的は見せ方や色遠近を理解できている。	ワークシート 制作途中の作品 作品
	合評	【鑑賞】 作品の講評を通して、自身の作品と他者の作品理解を深める。	○	○		○	a:芸術作品に関心を持ち、理解しようとする姿勢があるか b:思考力を働かせ作者の意図を感じ取れるか。 d:作品から技術や技法を理解している。	レポート 鑑賞活動の様子
	立体基礎 （ピーマンを観察する）	【描写】 ピーマンを３方向からスケッチし、観察し特徴を捉える。 制作 スケッチをもとに紙粘土で成形し、乾燥後着色。水性ニスを塗り、乾燥させる。	○ ○	○	○ ○		a:ものづくりによる表現の多様性に触れ、立体表現の変容を知るとともに関心をもって取り組めているか。 b:日常の観察から美しさの構造を見出そうとしているか。 c:配色での立体的な魅せ方や、色彩と遠近の関係を表そうとしている。また、平面の情報を立体に起こす工程を理解できている。	ワークシート 制作途中の作品 作品

	芸術鑑賞	【鑑賞】 レポート 貝校フェスタで展示されている作品の感想やアドバイスを書く。	○	○		○	a:芸術作品に関心を持ち、理解しようとする姿勢があるか b:思考力を働かせ作者の意図を感じ取れるか。 d:作品から技術や技法を理解している。	レポート 鑑賞活動の様子

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。